争議部報告

大正十五年十一月一日現在

受益者自体の力で實現せんとする處に存在の理由があると思ひます 然るに其理想は認識するが理想實現に対し努力せず少数の幹部に依って理想社会が建設さるゝ如く思って居る事は反意を持たない事に其理由があると思ひます

経済の情勢が益々不合理乱雑になるに従れて一般の労働者階級の生活は益々不安定ならしめ之を各自に団結し個人として問題を解決し得るだけの準備を必要とするには最高の教育は之を通じ、の使用なる方法に依り運動的精神の力をもて否な理想社会の實現を期する者である